

(令和7年9月29日発表)

南アルプスユネスコエコパーク登録更新が正式決定

◆アピールポイント	・静岡・山梨・長野3県 10 市町村の広域連携による自然保護と地域振興の取組が国際的に認められました。
◆内容など	■ 登録更新に至る背景 ・令和7年9月27日(土・現地)、中国・杭州で開催された「第37回MA B計画国際調整理事会」において、2014年に初めてユネスコエコパーク(生物圏保存地域)に登録された南アルプスユネスコエコパークの登録更新が正式に決定しました。 ・南アルプスユネスコエコパークは、静岡・山梨・長野の3県 10 市町村にまたがるエリアで、3,000m級の高峰と多様な生態系を有しています。高山植物やライチョウが生息し、生物多様性が際立つエコパークとして評価をされてきました。 ・2014年の認定以降、構成 10 市町村は環境教育や持続可能な観光資源の活用などを通じて、自然保護と地域振興の両立に取り組んできました。 ・登録 10 周年を迎え、エコパークを管理運営する「南アルプス自然環境保全活用連携協議会」を中心に、登録更新に必要な「定期報告書」の作成を進め、2024 年度にユネスコ本部へ提出しました。 ・定期報告書には、過去 10 年間の自然環境の変遷データ、エコパーク関連の活動記録など、多岐にわたる内容が盛り込まれました。これらはユネスコの規定に基づき、厳格な審査を受けました。その結果、南アルプスユネスコエコパークの定期報告書は生物圏保存地域世界ネットワーク(WNBR)の設ける基準を包括的に満たしているとされ、今回の登録更新に至りました。 ・登録更新の決定を受け、南アルプス自然環境保全活用連携協議会及び、構成 10 市町村では、さらなるエコパークの価値向上と理念の推進を図り、地域住民とともに事業展開を進めていきます。 ■ 南アルプス自然環境保全活用連携協議会の構成自治体 静岡市、川根本町、北杜市、韮崎市、南アルプス市、早川町、飯田市、伊那市、富士見町、大鹿村

別紙資料 有・無

イベントカレンダーへの掲載 無

【問合せ】 環境共生課 (静岡庁舎 13 階)
担当 石田、柳原
電話 054-221-1357

南アルプスユネスコエコパーク登録更新を受けての市長コメント

2014年の登録以降、南アルプスユネスコエコパーク構成10市町村は、ユネスコエコパークの理念である「人と自然との共生」を将来に渡り継承していくため、様々な取組を行ってきました。

今回登録更新が認められましたことは、関係する皆様のご尽力の賜物であり、心から感謝申し上げます。また、これまでの取組がユネスコに認められたこと大変喜ばしく思います。

静岡市は、次の10年に向け、南アルプスの自然環境と生物多様性の保全を継続しながら、豊かな地域資源を磨きあげ、それらの持続的な利活用と交流の拡大を図ります。

構成市町村とは、「南アルプスの自然環境の永続的な保全と持続可能な利活用」の共通理念の基、一体となった取組を進めていきます。

令和7年9月29日

静岡市長 難波喬司